

令和8年度 シラバス

教 科	理科	科 目	生物基礎	学 年	第2学年	学 科 類 型	普通科理系
単位数	2単位	教科書	改訂版 生物基礎（数研出版）				
副教材	二訂版スクエア最新図説生物（第一学習社）、新編アクセス生物基礎（浜島書店）、ネオパ ルノート生物基礎（第一学習社）						

学習目標	すべての生物は、細胞から作られています。授業では、まずは細胞の特徴や働きを学び、そこから生物の設計図である遺伝子につなげます。さらには生物の内的環境と外的環境にも目を向け、生物が日常的に行っている様々な反応について広く学習します。 生物基礎では生物や生物現象についての観察、実験を行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物に対する総合的な見方や考え方を養うことを目標とします。
------	--

キャリア教育の視点	生物基礎では生物や生物現象についての観察、実験を行い、自然に対する関心や探究心を深め、生物に対する総合的な見方や考え方を養います。 自分の知らなかったことや世界に出会い、自分の視野を広げることができます。
-----------	--

		学習計画及び内容	考 査
1 学 期	4月	第1章 生物の特徴	生命現象を理解する基礎となる生物の特徴を学習し、生態系の多様性や生体内の現象を理解します。
	5月	第1節 生物の多様性と共通性	
	6月	第2節 エネルギーと代謝	
	7月	第3節 呼吸と光合成	
2 学 期	8月	第2章 遺伝子とそのはたらき	私たちは、遺伝情報を保持し、その情報を次世代に伝えたり、タンパク質を作ったりしています。その過程を詳しく勉強します。 また、体内環境は常に維持されていて、外界から守ったり、細胞を保持したりしている仕組みを理解します。
	9月	第1節 遺伝情報とDNA	
	10月	第2節 遺伝情報の複製と分配	
	11月	第3節 遺伝情報の発現	
3 学 期	12月	第3章 ヒトの体内環境の維持	中間 期 末 考 査
	1月	第1節 体内での情報伝達と調節	
	2月	第2節 体内環境の維持のしくみ	
	3月	第3節 免疫のはたらき	
4 学 期	4月	第4章 生物の多様性と生態系	中間 期 末 考 査
	5月	第1節 植生と遷移	
	6月	第2節 植生の分布とバイオーム	
	7月	第3節 生態系と生物の多様性	
5 学 期	8月	第4節 生態系のバランスと保全	中間 期 末 考 査
	9月	<12月から物理／生物の選択科目へ移行>	
	10月		
	11月		
6 学 期	12月		中間 期 末 考 査
	1月		
	2月		
	3月		

学習の方法	端末を利用した授業で教科書の内容を理解し、その後実験を行ったり、図表を活用したり、問題演習をしたりすることで、知識の定着を図ってください。 共通テストに向けた対策を意識して、学習を進めていきます。予習や復習など計画性を持ってしっかり学習に取り組んでいきましょう。
-------	---

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートの記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考査
-------	--

備考	
----	--

